



Oriental motor

オリエンタルモーターレポート 2023

Think Motion

あらゆる動きを
常に考え、発想し、
解決していく



さまざまな「動き」を実現するモーター。

私たちオリエンタルモーターは産業、医療、食品、交通、物流など、
変化する社会ニーズをいち早く捉え、

地球環境の改善、社会や産業の発展に関わり続けています。

このレポートは、「動き」を通してより良い未来を発想し、解決していく
オリエンタルモーターグループのさまざまな取り組みを紹介しています。

変化する社会の中で価値を生み出し続け、グローバルにブランドの浸透を図り、世界中で選ばれ続ける存在であるよう、そして成長し続けていくことを目指し、ミッション・ビジョンを策定しました。ミッションは、オリエンタルモーターが提供する価値、ビジョンはつくり出したい社会像を示しています。

MISSION

今日よりも明日をより良くしたいと願っているエンジニアに対し、はじめの一步をモーション（ハード、ソフト、ヒト）で応援すること。モーションを通して想像以上の体験と驚きを届け、「Wow!」という価値を生み出すこと。

VISION

お客様と共に生み出したモノ・コトを通じて、誰もが安心して笑顔で持続的に暮らせる社会を創造すること。

Contents

Introduction

ミッション・ビジョン	03
トップメッセージ	04
労働安全衛生・環境・品質方針	06
社会課題の解決に向けて	08

お客様の課題に応える製品開発

2022年のピックアップ製品／技術	10
お客様の課題を解決する提案事例	12
地球環境に貢献する製品	13

環境のための取り組み

カーボンニュートラル実現に向けた活動	14
環境マネジメント／パフォーマンス	16

事業を通じた価値創造

生産性向上のための取り組み	18
技能取得	20
取引先様との取り組み	21
製品の安全性・信頼性	22
販売・サポート体制	23

地域社会との関わり

次世代育成、環境保全	27
------------	----

価値創造を支える基盤

健康経営	29
「共に育つ」人財教育、新人事制度	32
生き生きと働くための職場づくり	34
ガバナンス・リスクマネジメント	36

コーポレートデータ

経営パフォーマンス	38
会社概要	39

編集方針

オリエンタルモーターは、「オリエンタルモーターレポート」を発行し、社会のニーズに応え、価値を生み出す持続的な取り組みを報告しています。幅広いステークホルダーの皆様当社グループの活動を分かりやすくお伝えするよう心がけています。

報告範囲

オリエンタルモーター株式会社およびグループ会社を基本としています。

報告期間

2022年4月1日～2023年3月31日
(一部この期間外の情報も含まれます)

発行時期

2023年6月

製品とサービスを通じて 期待以上の感動を。

2022 年度を振り返って

2022 年度の業績は売上・利益ともに過去最高となりました。その背景として、半導体製造装置の需要が増加しており、電子部品業界では活発な設備投資が行われています。またコロナ禍で抑えられていた医療機器への投資も、回復傾向にあります。そうしたなかでステッピングモーターやハイブリッド制御システム *QSTEP* が浸透し、売上を牽引する結果となりました。

一方、2022 年度は樹脂や電子部品の供給難にも直面しましたが、代替部品を取り入れるなどで安定供給を継続しました。このような外部要因に関わらず、約束した納期に製品をお届けする体制づくりにさらに注力していきます。

社内に目を向けると、人員を増やすことなく、2019 年度比での生産性向上 130% を達成しました。これは生産部門の 3 年計画として、自動化ラインの導入などを進めてきた結果です。今後は 2025 年を目途に生産性向上 145% を目指して活動を継続します。

ミッション・ビジョンを軸に 事業を通じた課題解決を目指す

各部門からメンバーを集めてプロジェクトを組み、オリエンタルモーターが社会に対して果たしていく約束として、ミッション・ビジョンを策定しました。オリエンタルモーターが世界中の仲間と共に 10 年先、20 年先も成長していくために、今後は全社でミッション・ビジョンを体現するよう行動を変革し、取り組んでいきます。

強みを発揮し、 「全員活躍」を加速する新人事制度

社会の状況はめまぐるしく変化しています。今後もオリエンタルモーターが持続的に成長していくためには、社員一人ひとりが強みを発揮できる職場環境が欠かせません。こうした考えのもと、当社はこれまでの人事制度を大幅に見直し、2023 年 4 月に新人事制度をスタートしました。一人ひとりが役割を担いながら、共に育っていく。このような環境づくりが組織力の向上につながると確信しています。

代表取締役執行役員社長

川人英二



Introduction

労働安全衛生・環境・品質方針

経営の指針として「労働安全衛生」「品質」「環境」の3つの方針を設けています。全ての役員および社員は、事業活動における基盤としてこの3方針に基づいた行動をとるように努めています。

労働安全衛生方針

オリエンタルモーターは、全ての活動において労働安全衛生が重要課題であることを認識し、安全で心身ともに健康的な職場を提供する「人に優しい企業」として、全員参加で労働安全衛生活動に積極的に取り組みます。

1. 労働安全衛生リスクの低減

全ての活動において、危険個所の低減、5Sの徹底、職場環境の整備、防火管理および心身の健康増進活動などを通して、災害および事故の低減に努めます。

2. 全員参加

全ての社員が労働安全衛生課題に積極的に取り組めるように、社員の意見を尊重し、安全衛生委員会を主として情報の共有や協議を推進します。

3. 交通安全活動

交通安全活動の展開により安全運転意識を向上し、業務および通勤時の交通事故防止に努めます。

4. 法令等の遵守

労働安全衛生法をはじめ関連する諸法令および社内基準を遵守します。また、必要な法定資格の取得を推進し、維持発展できる体制を目指します。

5. 労働安全衛生教育

幅広い労働安全衛生教育を通して、課題を遂行できる知識の習得と意識の向上に努めます。

以上を実現するため、労働安全衛生マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。

制定日：2004年7月7日
改定日：2023年4月1日

品質方針

オリエンタルモーターは、お客様のニーズを捉えた製品の開発および標準化に取り組み、安定したモノづくりと、全員がそれぞれの役割に応じた改善活動を継続することで品質向上に邁進します。

1. 継続的な改善

全ての社員が、品質の重要性を認識し、それぞれの職場における円滑なPDCAサイクルを通して、継続的な改善を実施します。

2. 顧客満足

お客様の声に耳を傾け、それらを商品やサービスの改善に結びつけ、お客様の満足度向上を目指します。

3. 法令等の遵守

法規制をはじめとする社会的要求事項やお客様・取引先様などとの合意事項を遵守します。

4. 品質教育

品質教育と社員の創意・工夫を重視し、さらなる技能の習得と品質改善に努めます。

以上を実現するため、品質マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。

制定日：1994年1月6日
改定日：2023年4月1日

環境方針

オリエンタルモーターは、地球環境問題が重要課題であることを認識し、事業活動を通して環境の保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 気候変動への対応

事業活動における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー活動などにより、カーボンニュートラル実現に取り組みます。

2. 省資源・資源循環の促進

事業活動での省資源活動と廃棄物削減およびリサイクルに努め、資源循環の取り組みを推進します。

3. 環境に配慮した製品・サービスの提供

製品のライフサイクルにおいて、当社の強み・技術を活かし、環境に配慮した製品・サービスの提供を積極的に推進します。

4. 地域の環境保全・生物多様性

地域社会の環境保護活動ならびに生態系保全に積極的に取り組み、地域社会との共生を図ります。

5. 法令等の遵守

環境関連法規制をはじめとする社会的要求事項を遵守し、環境汚染防止に努めます。

6. 環境教育

環境教育と社員の創意工夫を重視し、さらなる環境負荷低減に努めます。

以上を実現するため、環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。

環境活動に関する情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日：1999年8月6日
改定日：2023年4月1日

ISO 認証による統合マネジメントシステム

ISO 9001 および ISO 14001 の認証を取得し、統合マネジメントシステムを構築しています。

ISO 認証取得状況

	ISO 9001	ISO 14001	ISO 45001
登録日	2005年2月23日 ※全社統合での認証取得日		2019年12月20日
更新日	2023年2月15日		2022年12月20日
登録拠点	鶴岡中央事業所、鶴岡西事業所、つくば事業所、土浦事業所、高松香西事業所、高松国分寺事業所、相馬事業所、柏事業所、東京支社、名古屋支社、大阪支社		相馬事業所
認証規格	ISO 9001 : 2015	ISO 14001 : 2015	ISO 45001 : 2018
審査登録機関	一般財団法人日本品質保証機構 (JQA)		
認証番号	JQA-QMA15799	JQA-EM7425	JQA-OH0309

社会課題の解決に向けて

技術・製品力

基礎

- 電気・電子工学
- 制御工学
- 機械工学

設計

- 磁気
- ソフトウェア
- 回路
- 低損失
- 構造

解析・評価

- 構造
- 流体
- 振動
- 熱
- 音響
- 絶縁

分析・測定

- SEM
- 蛍光 X 線
- 分光光度計

関連技術

- ネットワーク
- 3DCAD
- センサ
- トライボロジー

組立・自動化

- 巻線
- 接着
- 締結
- 産業用ロボット

加工

- 切削
- 塗装
- 熱処理
- 高精度歯切り

金型

- プレス
- ダイカスト
- 樹脂成型

実装

- 表面実装
- 画像検査
- 鉛フリーはんだ

高出力

高効率

高精度

小型化

安全性

信頼性

長寿命

デザイン

低振動

操作性

低騒音

標準化

低発熱

環境

モーター



電動アクチュエータ・ギヤ



ドライバ・コントローラ



ファンモーター



世界中のニーズに応える

ファクトリーオートメーション

- 半導体製造装置
- 電子部品製造装置
- 産業用ロボット
- 検査機器
- 成形機
- 洗浄機
- 搬送コンベア装置
- 無人搬送車 (AGV、AMR)
- 植物工場

医療・分析機器

- CT 装置
- MRI 装置
- 義歯製造装置
- 血液分析装置
- 電子顕微鏡
- 薬剤分包機
- レントゲン装置

食品機械・農業機械

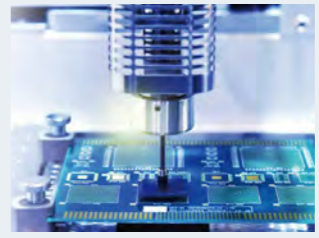
- 計量機
- 食品加工装置
- 選別機
- 播種機
- 包装機
- 異物検査装置
- 厨房機器
- 包鉛機

交通機器・金融機器

- ETC ゲート
- 計数機器
- 自動改札機
- 自動券売機
- 電車のシート回転装置
- ホームドア
- ATM

街の中

- アミューズメント施設や博物館などの展示、体験装置
- 回転寿司レーン
- 監視カメラ
- サービスロボット
- セキュリティーゲート
- 太陽光発電 (パワーコンディショナー)
- 電気自動車の充電スタンド
- 風力発電
- プラネタリウム



半導体製造装置



CT 装置



包鉛機



ETC ゲート



サービスロボット



太陽光発電、風量発電

社会課題の解決



お客様の課題に応える製品開発

あらゆる「動き」を支えていく、 一歩先のソリューションを

2022年のピックアップ製品

装置の小型化、高効率化などのニーズに応え続けるため、最新技術を生かしたさまざまな製品を開発しています。

αSTEP AZ シリーズ mini ドライバ

特徴

- 小型・軽量
- DC 電源入力、
バッテリー電源にも対応
- FA ネットワーク対応



EtherNet/IP

PROFINET

AC サーボモーター

AZX シリーズ

バッテリーレスアブソリュートセンサ搭載

特徴

- AZ シリーズと共通の設定方法で使用可能
- 高速域で高トルクを発揮
- 定格出力 400 W、
600 W をラインアップ



EtherNet/IP

ロボットコントローラ

MRC01

特徴

- 自作ロボットを簡単に制御
- AZ シリーズ用最大 7 軸
- オンライン 3D シミュレーションで、
動作確認



ロボットジョイントアクチュエータ

RJ シリーズ

特徴

- ロボットの関節用アクチュエータ
- 直交軸ギヤを使った省スペース
- AZ シリーズ搭載



電動グリッパ

EH シリーズ 3 つ爪タイプ

特徴

- 安定した把持が可能
- 把持力や開閉幅をデジタル調整
- AZ シリーズ搭載



ブラシレスモーター

BLV シリーズ R タイプ

特徴

- 小型・軽量・ハイパワー
- 高効率
- 1r/min からの低速域も
安定した運転が可能



ラック・ピニオン機構 LJ リニアヘッド

特徴

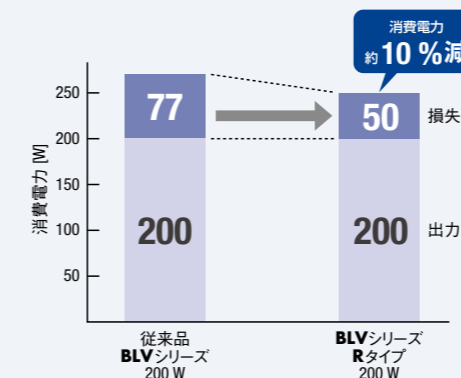
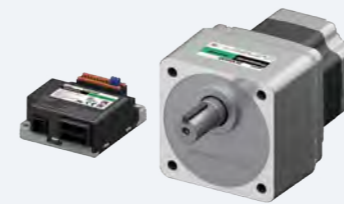
- ラック・ピニオン機構
- 最大可搬質量 200 kg
- 最長ストローク 700 mm



2022年のピックアップ技術

小型化による製品自体の省資源化、損失を抑えた高効率な製品の開発で、環境負荷の低減に貢献します。
また、用途に合ったロボットの自作を支援する製品を拡充し、お客様の自動化ニーズに新しい価値を提供します。

ブラシレスモーター BLV シリーズ R タイプ



技術力

モーターの磁気設計を最適化しました。
また、低損失の電子部品の採用でドライバを高効率化。
基板設計の高密度化により小型化・軽量化も実現しました。

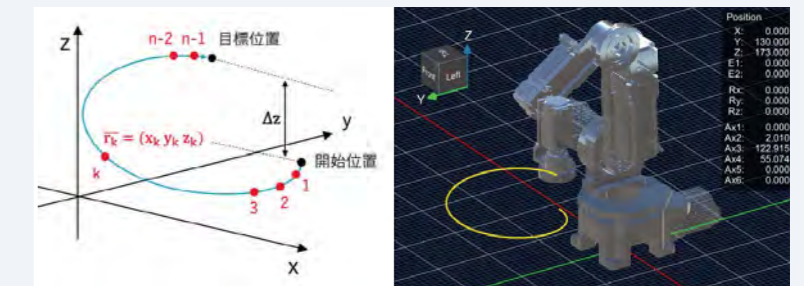
付加価値

製品の小型・軽量・高効率化により、お客様の設備の小型化と動作時の消費電力の低減が可能になります。

ロボットコントローラ MRC01



ロボットの軌道とオンライン 3D シミュレーション



技術力

ロボットの制御は各関節にあるモーターを個別に制御するのではなく、軌道計算、キネマティクス計算、各軸の同期制御を行い、ロボット全体を制御します。
さまざまな構造の自作ロボットに対応可能なコントローラを開発しました。

付加価値

ロボットを初めて製作する設備設計者でも、簡単にロボット制御ができるようになります。PLC を介さずにロボット動作プログラムを作成、検証できます。
お客様自身でロボット設備の製作が可能になります。

Interview

実用性と利便性を両立できる製品を



制御機器システム事業部
制御開発部
リーダー

近藤 大生

お客様の設備に最適なロボットを選択・導入することで、幅広く自動化のニーズに貢献できる製品となっています。

今後も実用性と使い勝手の良さを両立できる製品の開発を行っていきます。

お客様の課題に応える製品開発

お客様の課題を解決する提案事例

オリエンタルモーターは、産業界の課題に応えるために最新の技術を駆使した新製品を開発し、お客様の求める動きを実現しています。

お客様の課題 1

- 制御盤のサイズが小さく、ドライバを置くスペースがない
- バッテリー電源で動かしたい

オリエンタルモーターのソリューション

αSTEP AZシリーズ
miniドライバ

人が行っていた工程間の搬送や単純作業の自動化のニーズが増えている中、「装置の小型化」や「生産ラインのモジュール化」が求められています。αSTEP AZシリーズ miniドライバは、小型軽量でバッテリーでの駆動にも対応しています。ドライバの分散配置や省配線、制御盤の小型化が実現でき、より小型軽量の装置設計が可能です。パルス列入力や EtherNet/IP や PROFINET などの産業用ネットワークなど、多様な制御に対応できるようにラインアップを拡充しています。



AZシリーズ miniドライバ

お客様の課題 2

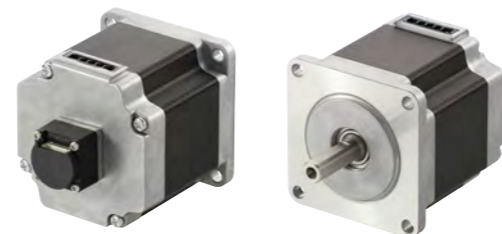
- 装置の信頼性向上のため、モーターの速度 / 位置を検出したい
- エンコーダ部品の手配と組立工数を削減したい

オリエンタルモーターのソリューション

エンコーダ付ステッピングモーター
ラインアップの拡充

2相 / 5相ステッピングモーター PKPシリーズに、エンコーダを搭載したモーターのラインアップを拡充しています。小型エンコーダをアセンブリした状態でお届けするため、トータルコストダウンと装置設計の自由度向上に貢献します。

分解能 1000P/R のエンコーダを搭載し、高精度な位置検出が可能のため、半導体や医療業界などでの採用が増えています。



PKPシリーズ

地球環境に貢献する製品

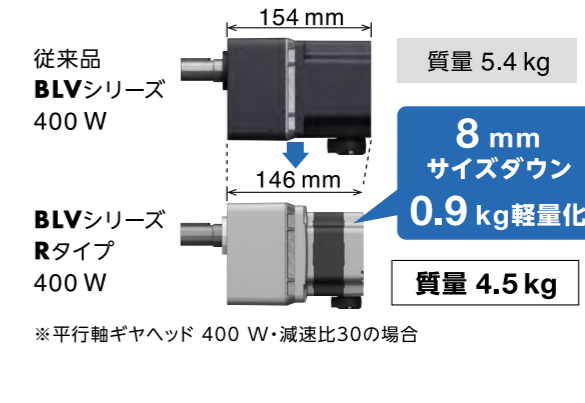
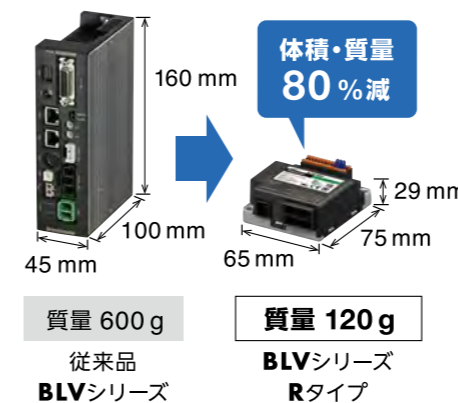
製品を通じて環境負荷の低減に貢献するため、CO₂ 排出量の削減に貢献できるエネルギー効率の高いモーター、装置の省エネに貢献する低消費電力ファンなどの製品を提供しています。

搬送ロボットの小型・軽量化が図れ、走行距離を延ばせる高効率モーター

BLV シリーズ R タイプは、従来機種よりも小型で軽量化が図れる DC 電源入力のブラシレスモーターです。装置の小型・軽量化により輸送時などの CO₂ 排出量を削減します。また、ドライバ体積が大幅に減るため、省資源化に貢献します。ブラシレスモーターは、ローターに永久磁石を用いていることで損失を低減し、高効率な駆動を可能にしています。

省資源

モーター、ドライバともに大幅な小型・軽量化を実現しています。



省電力

モーター構造を見直し損失を抑えたことで、従来機種よりも消費電力を抑えています。1回の充電で走行できる距離や時間を延ばすことができ、バッテリーの充電回数を減らすことができます。

装置の省エネに貢献する低消費電力 EC ファンと温度スイッチ

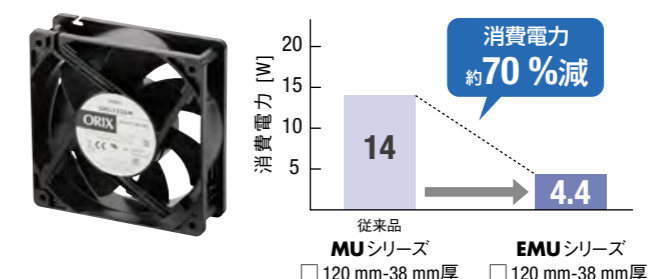
EMU シリーズはブラシレスモーターを搭載することで、消費電力を従来に比べ約 70% 削減しました。(従来品 MU シリーズ) フレームの材質を樹脂にしたことで、質量は約 45% の軽量化。輸送時の CO₂ 削減・省資源化に貢献します。

さらに温度スイッチを活用することでファンモーターの消費電力を削減し、装置全体の省エネに貢献します。

EC ファン EMU シリーズ

省電力

- 消費電力 4.4 W
 - 期待寿命 60,000 時間 (従来比 2.2 倍)
 - 質量 0.29 kg (従来比 45% 減)
 - ワイド電圧仕様 単相 100-240 V (50/60 Hz)
- 電圧 / 周波数に関係なく、同一特性を発揮します。



ファン用温度スイッチ

省電力

- 装置内の温度が高く、冷却が必要な時だけファンモーターを運転させることで消費電力を抑え、省エネに貢献します。



環境のための取り組み

カーボンニュートラル実現に向けて

カーボンニュートラル実現に向けた活動

温室効果ガスの排出や資源の枯渇。こうした世界の課題に対して、オリエンタルモーターは関連会社を含めた国内全拠点を対象に、「2050年までに事業活動に伴うCO₂排出量ゼロ」「2030年までにCO₂排出量の2013年度比50%削減」という目標を設定しました。達成に向けて、製品における取り組みと事業活動での取り組みの両輪で活動していきます。

製品における取り組みでは、エネルギー効率が高く、小型で製品寿命が長い製品をお使いいただくことで、お客様の省エネ・省資源化に大きく貢献します。

事業活動では、右図の3つの活動を柱に取り組んでいきます。モノづくりでの省エネ活動はもちろん、各職場で一人ひとりが業務効率化を図ることも電力使用量の削減につながるため、そのような共通認識を持った上で「全員参加の省エネ活動」に取り組んでいきます。

太陽光発電への取り組み

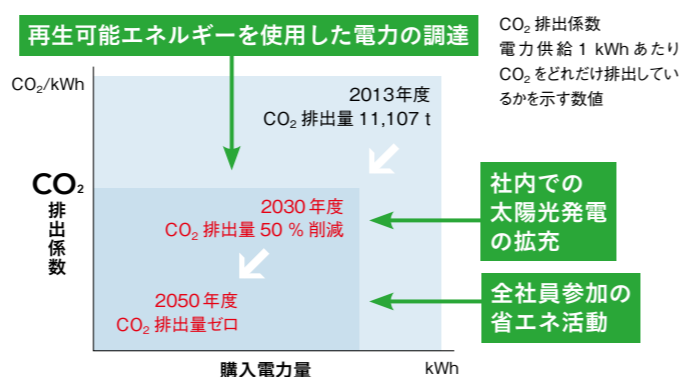
オリエンタルモーターの太陽光発電の取り組みは、東日本大震災後の2013年11月に相馬事業所に設置した750kWのFIT（固定価格買取制度）からスタートしました。

2022年度は、自家消費型太陽光発電システムによる再生可能エネルギー電気の導入に向けて、導入拠点の検討や計画立てを進めました。

2023年度に稼働する太陽光発電システムにより、年間発電電力量約1,800千kWhの電力供給が可能となり、年間電力使用量の9.2%を自社の発電で賄うことになります。

また、CO₂排出量を年間829t-CO₂（全社排出量の8.8%相当）削減する見込みです。

2024年度以降も計画的に再生可能エネルギー電気の導入を推進し、地球環境保護と持続可能な社会の実現に貢献していきます。



また、オリエンタルモーターのCO₂排出量のうち約90%を電力が占めており、これを計画的に全拠点で再生可能エネルギーに置き換えることで、電力使用によるCO₂排出量の大幅な削減が見込めます。2023年度からは太陽光発電の導入によって自家調達した再生可能エネルギーの活用を予定しています。

太陽光発電システム稼働予定



既設の太陽光発電装置
（相馬事業所）

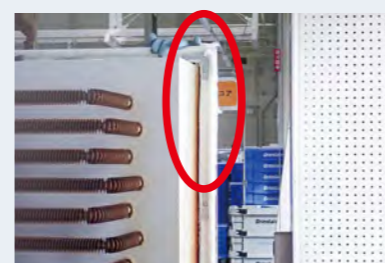
環境に貢献する取り組み事例

相馬事業所の省エネ活動

カーボンニュートラルに向けた全社目標を受け、相馬事業所では2030年度のCO₂排出量の目標を400t-CO₂、2013年度比で50%と設定しました。この目標を達成するため、2022年8月よりカーボンニュートラルプロジェクトを発足し活動を開始しています。

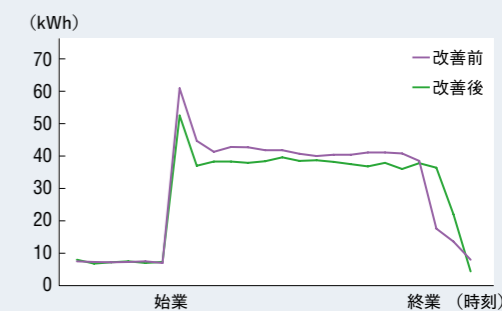
電力の使用量を削減する省エネ活動として、まずは各部署で実施可能な項目を出し合い、4.3 t-CO₂/年の削減が見込める活動計画を進めています。

2022年度は、カチオン電着塗装焼付炉の熱ロス削減に取り組ましました。電着塗装焼付炉のヒーター部扉からの熱ロス対応として、パッキンをシリコン系から耐熱性のあるガラス繊維系に変更することで、30℃から60℃の熱放出低減を実現し、7,680 kWh/年、3.6 t-CO₂/年の削減効果を生み出すことができました。熱ロス削減活動での経験を、今後は相馬事業所内だけでなく、全社に展開していきます。

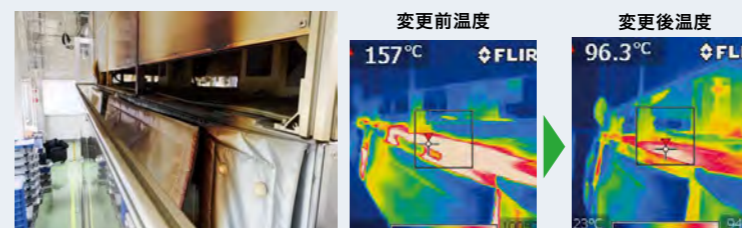
カチオン電着塗装焼付炉パッキン変更によるCO₂削減

ガラス繊維系パッキン

電着塗装ライン電力量



電熱部パッキン変更による温度変化



電熱部

電力量削減
7,680 kWh/年
CO₂排出量削減
3.6 t-CO₂/年

Interview

意見を取り入れ、実行する



総務部
課長
竹内 和彦

相馬事業所の環境担当として、カーボンニュートラル実現に向けた活動を推進しています。省エネ活動はすぐに飛躍的な効果が出るものではありません。しかし、着実に使用電力を下げる継続的な活動が必要です。各セクションからの意見を柔軟に取り入れ、まずはやってみる、そして活動の成果を見る化するすることで、活動に対する事業所全体のモチベーションアップを図っていきます。

環境のための取り組み

環境マネジメント

環境方針に基づき、地球環境と人に優しい企業経営を実践していくため、事業活動を通じた環境負荷低減に取り組んでいます。

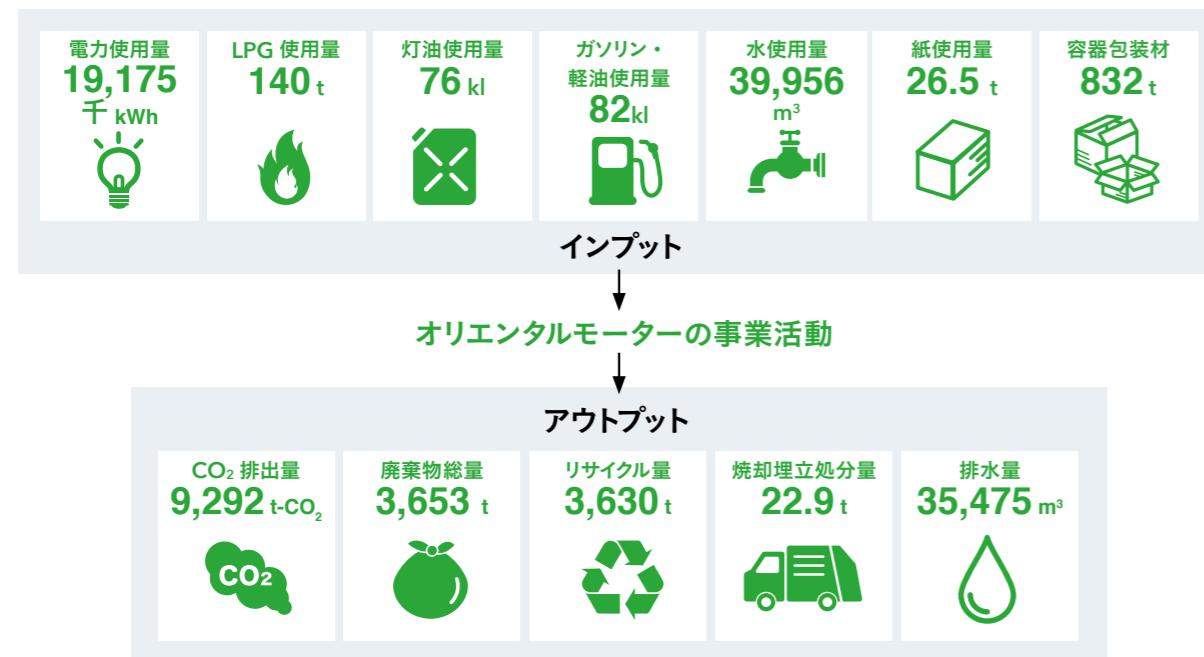
カーボンニュートラル目標



環境活動の目標と実績

	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
エネルギーの管理	5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する	空調設備や照明の更新を積極的に推進。生産性の向上等により、エネルギー効率が向上。5年度間平均原単位の5%低減を達成	5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する
廃棄物の管理	廃棄物削減活動の継続 国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する	廃棄物の総排出量3,653 t (前年度比99.4%) 国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.4%を達成	廃棄物削減活動の継続 国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する

環境負荷データ



※報告範囲

・エネルギーデータ (電力使用量、LPG 使用量、灯油使用量、ガソリン・軽油使用量および CO₂ 排出量) : 日本国内のオリエンタルモーターおよび関連会社
・エネルギーデータ以外/国内主要生産拠点 (鶴岡中央事業所、鶴岡西事業所、土浦事業所、つくば事業所、高松西事業所、高松国分寺事業所、相馬事業所、柏事業所、甲府事業所)

※ CO₂ 排出量の算出については環境省・経済産業省の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」を参照しています。

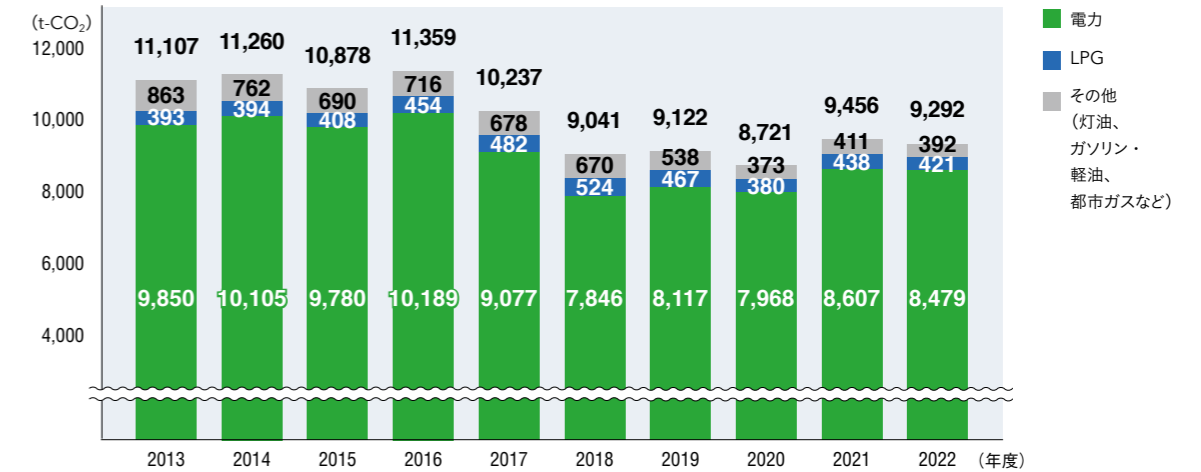
※ CO₂ 排出量の算出には、電気事業者ごとの基礎排出係数を使用しています。

環境パフォーマンス

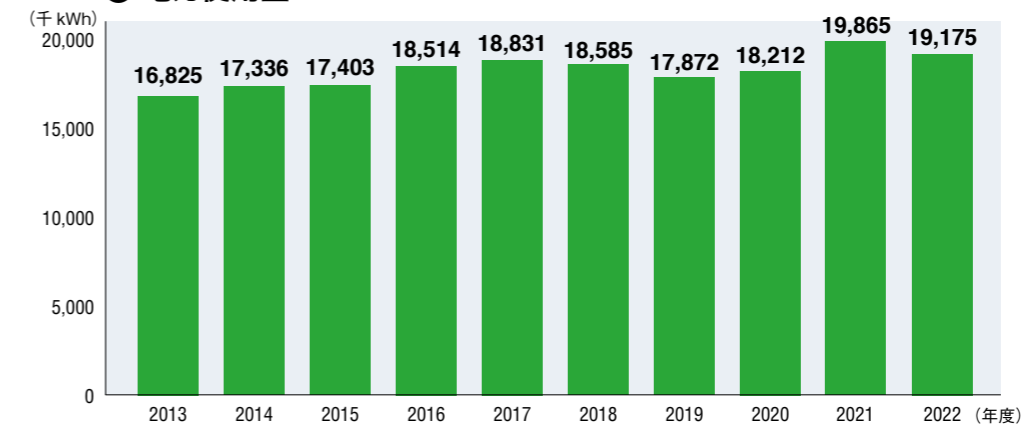
CO₂ 排出量の低減や限りある資源を有効活用した生産活動により、地球環境の維持・向上を目指しています。

① エネルギー起源 CO₂ 排出量

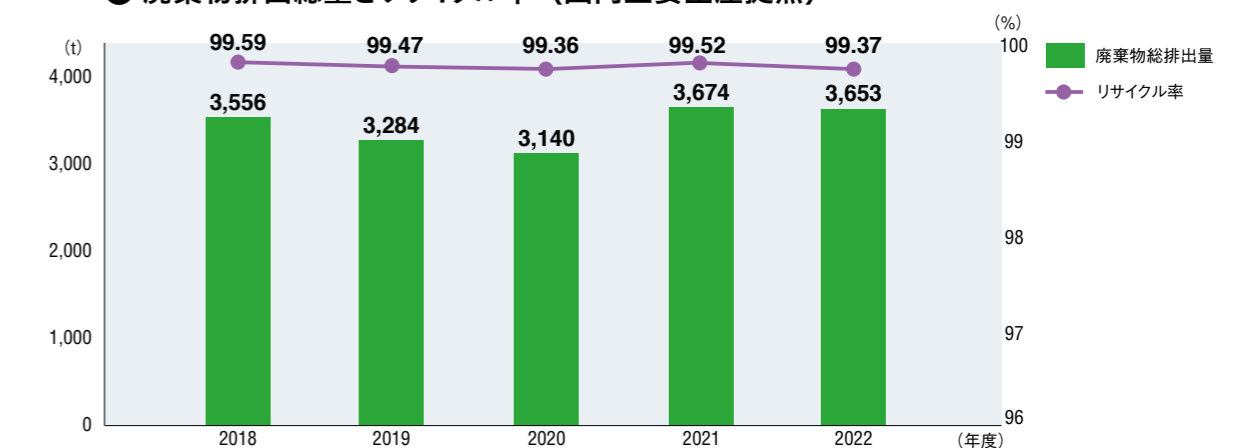
2022年度 16.3%削減 (2013年度比)



② 電力使用量



③ 廃棄物排出総量とリサイクル率 (国内主要生産拠点)



事業を通じた価値創造

持続的な成長のために 新たな価値を提供していく

生産性向上のための取り組み

社会環境の変化に対応し、どのような状況下でもお客様の手元に安定して製品をお届けするために、生産能力の強化に努めています。

安定供給の維持

3年間で生産性を30%向上

2020年度より生産部門全体で「2022年度の生産能力を2019年度比で130%にする」という数値目標を掲げ、①自動化の推進、②生産工程の最適化、③TPM活動に注力してきました。その結果、2022年度の実績は2019年度から32%向上しています。

目標達成に向けた3つの活動では、製造だけでなく設備の

保全や立ち上げ、製造工程の設計など各部門が一体となって活動しました。例えば、働き方や危機管理の面からも部門を超えた多能工に取り組み、製造業務をフォローできる体制を整えたり、生産ラインに入る社内ライセンスの取得を進めたりしています。今後も部門一体となって手を取り合うことで、お客様への安定供給を実現していきます。

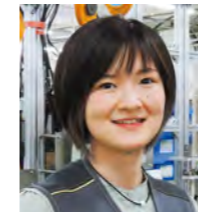


生産工程間をつなぐAGVで、モノの搬送を自動化

自動化ラインの立ち上げ

Interview

内製スカラロボットで部品を連続搬送する自動化ラインを実現



生産技術部
野中 玲奈

さらなる生産台数の増加を見越して、2022年度は当社の主力製品・AZシリーズの各工程で生産能力の強化に取り組みました。

そのうちアブソリュートセンサの部品を接着する工程では、自社で開発したロボットコントローラ搭載の「スカラロボット」を導入した自動化ラインを立ち上げ、2022年5月に量産を開始。これまで手作業で行っていた接着作業を

ロボットが担うことで、2名の活人化と生産性向上を同時達成しています。

内製のスカラロボットでワークを設備間で連続搬送する生産ラインは、当社では初めての事例です。ロボットコントローラ（MRC01）が2022年度に発売されたことで、ロボットを内製できるという設計の幅が広がり、高さや奥行に制限のある設備にも導入することができます。さらに、誰でも簡単にロボットの制御ができるようになり、手作業の動作を簡単に再現できるようになりました。今後、他拠点でもロボットコントローラを使った内製ロボットによる自動化ラインを増やしていく方針です。



スカラロボットが接着作業を担う自動化ライン
ロボットの動きが見やすいように正面パネルを透明にするなど、設備外観も意識



スカラロボットによる小物部品のピッキング
グリッパの電流値を制御して、部品が傷つけない力加減で掴む

TPM活動の展開

各拠点でリーダーを立てて活動を本格化

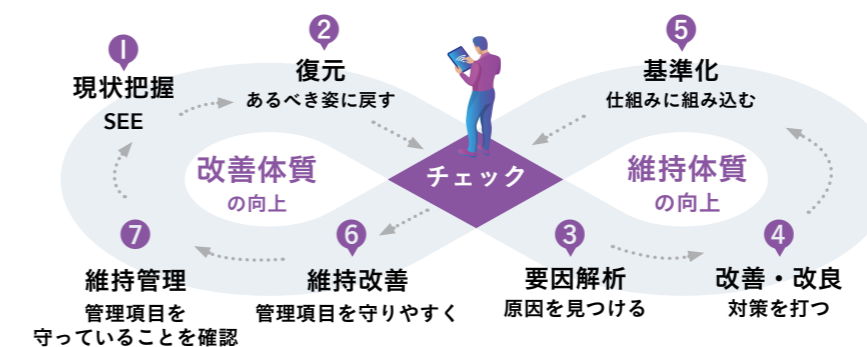
生産部門全体で取り組む数値目標のもと、2022年度は全事業所でTPM（トータル・プロダクティブ・メンテナンス）活動を本格化しました。この活動の目的は、生産現場で発生するロスを低減し、本来の生産能力を発揮できる状態に還元し、その状態を維持することで持続的に生産能力を向上することです。

オリエンタルモーターでは「復元」「維持継続活動」の考え方に基づいて、ステップごとに目標を立て、生産現場の全員で工夫しながら活動を進めています。

2022年度より各拠点で「TPM推進役」を発足しました。全員がTPMインストラクターの資格を持っており、スケジュール管理や維持・定着活動、拠点

間の水平展開を進めるなど、旗振り役として活動を牽引しています。また人材育成の機会として、活動のステップごとに講義を行い、理解度チェックテストによって理解浸透の度合いを見ながら進めています。今後も製造現場を中心に、推進役も協力して各拠点で活動を進展させていきます。

維持・改善体質の向上を目指す「8の字サイクル」の考え方



自主保全分科会を行い、設備の総点検を実施

事業を通じた価値創造

技能取得

生産活動を支えるために、一人ひとりの社員が目的意識を持ち、仕事を通して成長できるよう、社員のスキルアップを図っています。研究会などへの参加のほか、各種技能検定、自主保全士、接着管理士などの資格取得を通して、モノづくりを支える人財として活躍しています。

2022年度 技能検定合格者人数

(単位：人)

職種	作業	1級	2級	3級	合計
機械加工	マシニングセンタ作業	1			1
	数値制御旋盤作業		1	1	2
ダイカスト	コールドチャンバダイカスト作業		2		2
機械保全	機械系保全作業	1	8	1	10
	電気系保全作業	1	6		7
	設備診断作業	1			1
機械検査	機械検査作業			7	7
金属熱処理	浸炭・浸炭窒化・窒化処理作業		2		2
電子機器組立て	電子機器組立て作業			1	1
合計		4	19	10	33

2022年度 自主保全士資格取得者数

(単位：人)

	1級	2級	合計
資格取得者数	21	49	70

接着管理士資格取得保持者

(単位：人)

2022年度 資格取得者数	7
資格取得保持者合計	82

自主保全士成績優秀者表彰を受賞

自主保全士とは、製造オペレーターに求められる知識と技能について、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会が定めた認定資格です。2022年度は、自主保全士成績優秀者として、3名の社員が表彰されるとともに、企業として団体表彰を受賞。表彰式では団体表彰講演も行いました。



表彰状の授与



団体表彰講演「自主保全士育成による職場の変化」

取引先様との取り組み

調達の基本方針

安定供給を継続し、環境保全に配慮した資材調達を行うためには、取引先様との協力体制が不可欠です。法規制をはじめとする社会的な要求を満たし、取引先様との合意事項を順守し、最適な取引を継続していきます。

グリーン調達の推進

環境保全に配慮し、製品含有化学物質の法規制に対応した管理、運営を定め「有害物を入れない、使わない、出さない」ための活動を行います。そのため、取引先様にも製品含有化学物質管理体制の構築をお願いしています。

法令・社会規範の順守

商取引に関する法規を順守し、調達活動を行います。また、取引に関する機密情報は、許可なく第三者へ開示いたしません。



公正かつ公平な取引

地域・規模・実績の有無を問わず、取引先様に対して公正かつ公平な参入機会を提供します。取引先様と対等な立場で取引を行うことで、継続的な協力関係を構築し、相互の存続・発展を目指します。

総合的な判断による最適な取引

品質、納期、コスト、安定供給力、技術開発力、経営の安定性を総合的に判断して取引を行います。

紛争鉱物を使用しない取引

コンゴ民主共和国またはその周辺諸国で人権侵害を行う武装勢力の資金源となる紛争鉱物（タンタル、スズ、タングステン、金）について、取引先様のご協力のもと調査を実施し、不使用に向けた取り組みを行います。

取引先様とのコミュニケーション

取引先様との積極的な対話

- 対話、情報交流による継続的な協力関係を構築
- 品質改善、納期改善、原価低減を行う際、取引先様の現場に赴き、現地・現物をもとに対話を重ねる
- 取引先様の企業価値向上も目指すコミュニケーション
- より良い製品開発を目的とした技術交流の実施
- オンラインの活用



技術交流会の様子

国際調達の推進

市場環境はグローバルかつスピーディーに変化しています。また近年、自然災害などの供給リスクを想定したサプライチェーンの整備も重要度を増しています。取引先様との連携による供給力向上と並行し、国際調達を推進します。国際調達においても、取引先様との信頼関係が重要となります。広州オリエンタルモーターを中継地点とし、直接対話を行い、現地で品質保証された部品を安定的に供給できる体制を目指します。



広州オリエンタルモーターで行う品質検査

事業を通じた価値創造

製品の安全性・信頼性

製品を安心してお使いいただくために、安全性・信頼性を評価する試験体制構築や規格開発活動に取り組んでいます。

製品の安全性と試験体制

オリエンタルモーターの製品は、欧州、北米、アジアをはじめとする世界の主要な安全規格・法令に適合しています。その安全性をより確かなものにするために、つくば事業所に製品安全試験所とEMC試験センターを設けています。

製品安全試験所は、事業部門から独立した試験所として国際規格ISO/IEC 17025試験所マネジメントシステムによって管理され、第三者認証機関であるVDE（ドイツ技術者協会）及びUL（Underwriters Laboratories）の認定試験所としても登録されています。第三者認証取得製品を社内で試験できることから、部品や材料の変更にも迅速に対応でき、製品の安定供給を支えています。



製品安全試験所

信頼性を高めるための環境試験

製品は、さまざまな環境で使用されます。お客様が行いたい動きや想定される環境下で意図した寿命を全うするための信頼性の検証が重要です。お客様の期待に応えるため、温度・湿度、振動など、使用環境に近い状態の再現試験を行い故障部位の原因究明を行います。さらに原理原則に基づいた故障メカニズム解析によって製品改善に努め、信頼性を高めています。この活動は、新たな使用環境に適した製品開発に生かしています。

主な所有評価設備

計測

- 三次元座標測定機
- 画像測定機
- 真円度測定機
- 表面粗さ輪郭形状測定機

分析

- 実体顕微鏡
- 金属顕微鏡
- 走査型電子顕微鏡(SEM)
- 蛍光X線分析装置(EDX)
- 赤外分光光度計(FT-IR)

試験

- 小型低温恒温槽
- モーターシャフト疲労試験機
- 高度加速寿命試験(HAST)
- 複合環境試験機
- 冷熱衝撃試験機
- 塩水噴霧試験機
- 恒温恒湿槽
- 落下試験機



信頼性試験棟

安全性・信頼性に関する規格開発への貢献

オリエンタルモーターは、高度な自動化の一端を担う製品を提供する企業として、安全・安心な社会の構築に責任があると考えています。主に以下の安全性・信頼性に関する規格開発への貢献を通して、自動化による社会課題の解決を支えるとともに当社製品の安全性・信頼性向上に役立っています。

- 電気安全分野：UL 1004 シリーズ（モーターをはじめとする回転電気機械）
- 機能安全分野：IEC 61508（機能安全）、ISO/IEC TR 5469（機能安全とAIシステム）
- 総合信頼性分野：IEC 60050-192（総合信頼性用語）、IEC 61025（FTA9）
： IEC TR 63039（システムの確率論的リスク分析）

販売・サポート体制

時代とともに変化するお客様の課題を正確に把握し、お客様のモーション全体に関わるソリューションを提案することでお客様が求める動きの実現に貢献しています。

お客様の求める「動き」を実現するためのご提案



事業を通じた価値創造

世界中のお客様を支えるサービス・サポート体制

対面や電話対応と併せてオンラインを活用し、お客様への最適なサービス提供に取り組んできました。
今後も世界中のお客様にご満足いただけるサービスの拡充をしていきます。

オンラインセミナー

お客様に製品の構造や原理、使い方から活用提案まで、情報提供の場として各地域でオンラインセミナーを開催しました。日本では、2022年度新たに5コース追加し、より多くのお客様の問題解決への貢献を目指しました。

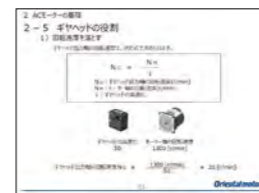
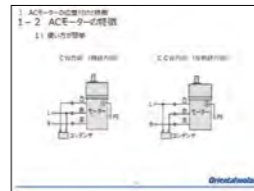
オンラインセミナー実施状況

2022年度の
利用者数合計 **8,033人**

開催地域（日本、アメリカ、台湾、シンガポール、マレーシア、タイ、インド）



オンラインセミナー開催中の講師



セミナーテキスト抜粋

eラーニング

いつでもどこでもお客様のペースに合わせて受講いただけるコンテンツです。動画で理解を深め、段階的に学び、確認テストで理解度の確認や復習ができる構成になっています。

利用者数の推移

2022年度の
eラーニング利用者 **12,709人/月**

人気プログラム TOP3

- 1 ACモーターの基礎
- 2 ステッピングモーターの基礎
- 3 ステッピングモーター 選定計算編

お客様ご相談センター

購入前から購入後まで、電話や問い合わせフォームからのご相談に加え、お持ちのPC・スマートフォンから、オンラインによる製品相談を実施して、お客様課題の早期解決を目指しています。

お客様の声

モーターの使い方を教えてもらいながら、機能の活用方法とデータの設定方法まで話げできた。電話と違い、顔を見ながら対話できるので安心感があつた。



デモ機で動きを確認しながら解説

オンライン相談でできること

パソコン画面を共有して

- お客様の画面を確認しながら製品の選定
- データ設定ソフトを確認しながら装置の立ち上げサポート

カメラなどを通して

- 実際の製品の動きの確認
- トラブル発生時のお客様現場の製品使用環境の確認

フィールドサービス

万一、オリエンタルモーター製品でトラブルが生じた場合、迅速で正確な対応で設備の早期復旧に努めます。全国のサービスエンジニアがオンライン、またはお客様の現場へ訪問し対応しています。

お客様の声

- 最短時間でトラブルを解決することができた。
- トラブルの原因特定が短時間で済み、また解決方法も分かりやすかつた。



選定サポート

モーター選定にかかる時間と手間の削減に貢献します。選定後は選定結果報告書を用意し、装置部品選定の承認資料などにご活用いただけます。お客様自身で選定計算できるツールと専任スタッフに依頼する方法とお客様の状況やご希望に合わせて利用いただいています。

2022年度
月平均利用数 **1,400件/月**

WEB展示会

2022年度も新製品の動き・各種製品の活用方法がイメージできるコンテンツによるWEB展示会を開催しました。オンライン上での定期イベント化により、場所や時間に制限されず最新情報をまとめて取得いただける機会を創出しています。

開催実績

台湾	2022年5月～6月 2022年12月	シンガポール、マレーシア、タイ、インド	2022年4月～
中国	2022年4月～	日本	2022年9月 2023年2月～3月
アメリカ	2022年4月～	訪問数の合計	57,845名



対面の展示会をイメージしたインターフェース（日本）



動画やアプリケーション事例豊富なバーチャルショールーム（アメリカ）

事業を通じた価値創造

展示会

各地の状況に応じて出展を行いました。モバイルオートメーション、ロボットの内製化事例を紹介しモーター活用イメージを訴求しました。

2022年度の主な出展実績

開催地	開催期間	展示会名
日本	5/19～5/21 6/30～7/2 10/5～10/7	MEX 金沢 ロボットテクノロジー展 2022 関西機械要素技術展
アメリカ	5/10～5/11 6/6～6/9 10/19～10/20 10/23～10/26	Robotics Summit & Expo Automate ROBO Business Pack Expo Chicago
ドイツ	5/30～6/2 11/8～11/10	Hannover Messe SPS 2022
イギリス	4/5～4/7	Drives & Controls 2022
イタリア	5/24～5/26	SPS Italia
台湾	8/24～8/27	自動化工業展
マレーシア	6/22～6/25 6/21～6/23	AUTOMEX Semicon SEA
ベトナム	11/9～11/11	Vietnam Industrial & Manufacturing Fair (VIMF)
インドネシア	11/30～12/3	Manufacturing Indonesia



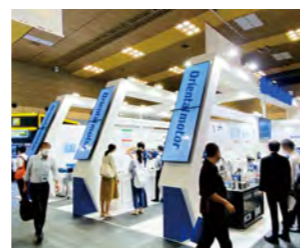
ロボットテクノロジー展 2022 (日本)



自動化工業展 (台湾)



AUTOMATE 2022 (アメリカ)



関西機械要素技術展 (日本)

代理店との連携強化

Interview

代理店各社と一体となってさまざまな活動を展開

名古屋支社 課長
上田 元太

全国 18 社と代理店契約を結び、年間を通してさまざまな活動を実施しています。毎年 5 月には、代理店各社の代表者が一堂に会する業績報告会議を開催し、国内外を取り巻く市場環境と売上拡大のための課題など、オリエンタルモーターの中長期の目標と営業戦略について共有しています。

2022 年度の主な活動としては、代理店とタイアップしたオリエンタルモーターフェアの開催や、製品の拡販キャンペーン活動のほか、全国の代理店を WEB でつないだ新製品発表会など、代理店と一体となった販売促進活動を展開してきました。その他、代理店に対し、デモ機動画をはじめとした販促コンテンツの提供や、製品知識習得に向けた勉強会も実施し、より質の高い営業活動ができるよう各種営業支援を行っています。



代理店とタイアップしたオリエンタルモーターフェア



業績報告会の様子

地域社会との関わり

地域とのつながりを持って
豊かな社会づくりを支えていく

オリエンタルモーターグループは、地域社会とのつながりを大切にし、より豊かな社会の実現に向けて、多角的な活動を展開しています。地域社会の一員として「地域活性化支援」「環境保全」などの社会活動のほか、未来の技術を担う学生の皆さんに対する「次世代育成」など、さまざまな活動に取り組んでいます。

次世代育成

モノづくりの楽しさを伝える出前実験教室

「わくわく社員研究会」とは、入社 2 年目社員が地元の中学生に対してモーターをテーマとした実験教室を企画し、モーターの構造・回転原理・オリエンタルモーターの魅力をどう伝えるかについて研究する活動です。

モーターについて自分達自身で考え調べることで、オリエンタルモーターの製品と考え方を学び、同時にプロジェクト管理や目標管理などのスキルを身に付けることを目的としています。

2022 年度の実験教室は、入社 2 年目社員 12 名が参加し、地元中学校 99 名の中学生を対象に開催しました。



中学校で行った出前実験教室

中学生がわくわくするような実験教室を作り上げ、オリエンタルモーターに興味を持ってもらいたいという思いで活動に取り組んでいます。

Interview

楽しくモーターを
学んでいただくために管理統括部
五十嵐 萌衣

チームリーダー兼ティーチングアシスタントを担当しました。実験教室をどのように進めたら楽しんでモーターを学べるか、参加する中学生の立場になって考えることを意識しました。チーム全員でディスカッションを重ね、自分達自身も研究会を楽しみながら本番に向けた準備を進めました。



ティーチングアシスタントとモーターを動かせるか挑戦

地域社会との関わり

つくばチャレンジ 2022 への協賛

つくばチャレンジは、つくば市内の遊歩道などがある市街地で移動ロボットが自律走行する技術チャレンジで、オリエンタルモーターが協賛を行っています。研究者や地域が協力して行う先端技術への挑戦と公開実験の場として 2007 年より開催されています。

2022 年度は、オリエンタルモーターから技術メンバーがチームを組んでプロジェクトに参加。初めて自律移動ロボットを製作しました。製作の過程では、スムーズな走行にはどんな機能が必要か、ユーザー目線で移動ロボット向けの最適なソリューションを検討するなど、新しい製品開発にもつながる取り組みとなっており、技術部門の教育にもつながっています。



つくばチャレンジ 走行実験の様子



全日本マイクロマウス大会

大学での講義実績

- 名古屋大学工学部
「エネルギー理工学設計および製作」
- 法政大学理工学部
「機械プラクティス」



名古屋大学での講義

学生の事業所見学

将来の地域社会を支える子どもたちへの支援として、小中高校を対象とした事業所見学を行っています。



高等学校事業所見学（相馬市）

環境保全

より暮らしやすい地域を目指し、社員だけでなくその家族も含め、地域の清掃活動に参加しています。



香西地区クリーン作戦（高松市）



霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦（土浦市）

価値創造を支える基盤

生き生きと働くための 安心安全な職場づくり

健康経営

オリエンタルモーター健康経営宣言

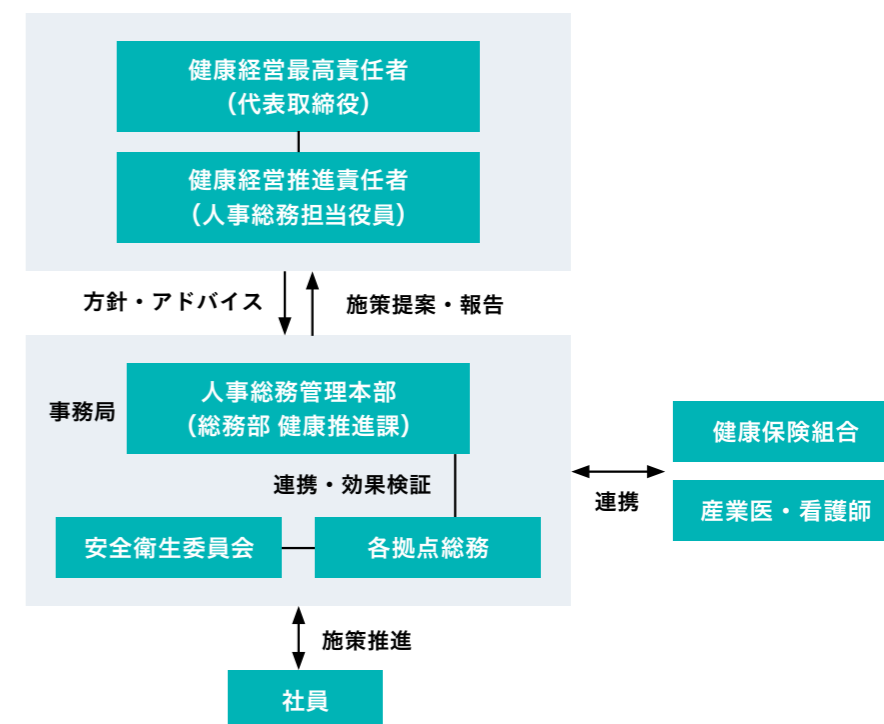
オリエンタルモーターは、企業として新たな価値を創造し持続的に成長していくため、生き生きとやりがいをもって一人ひとりが働くことを目的として健康経営を推進し、社員が心身ともに健康かつ快適に働くことのできる職場環境を実現していきます。

2021年10月1日制定
オリエンタルモーター株式会社
代表取締役執行役員社長
健康経営最高責任者

川人 英二

健康経営 推進体制

オリエンタルモーターは、健康経営最高責任者を代表取締役社長と定め健康経営推進体制を構築し、健康保険組合、産業医、看護師と連携しながら、社員の健康維持と増進を図ります。



価値創造を支える基盤

健康経営重点項目

今後も重点項目をもとに、健康づくりをより一層推進し必要な施策を行ってまいります。

1. 生活習慣病対策

- 1 定期健康診断の受診 100 %
- 2 有所見・メタボリックシンドローム該当者への対応（再検査、保健指導の受診促進）

2. メンタルヘルス対策

- 1 ストレスチェック受検促進
- 2 各種メンタルヘルス講習・若手向けカウンセリングの実施
- 3 メンタルヘルス施策（社外 EAP 契約、産業医との連携）

3. 喫煙対策

- 1 受動喫煙対策の促進
- 2 禁煙イベント、キャンペーンの実施

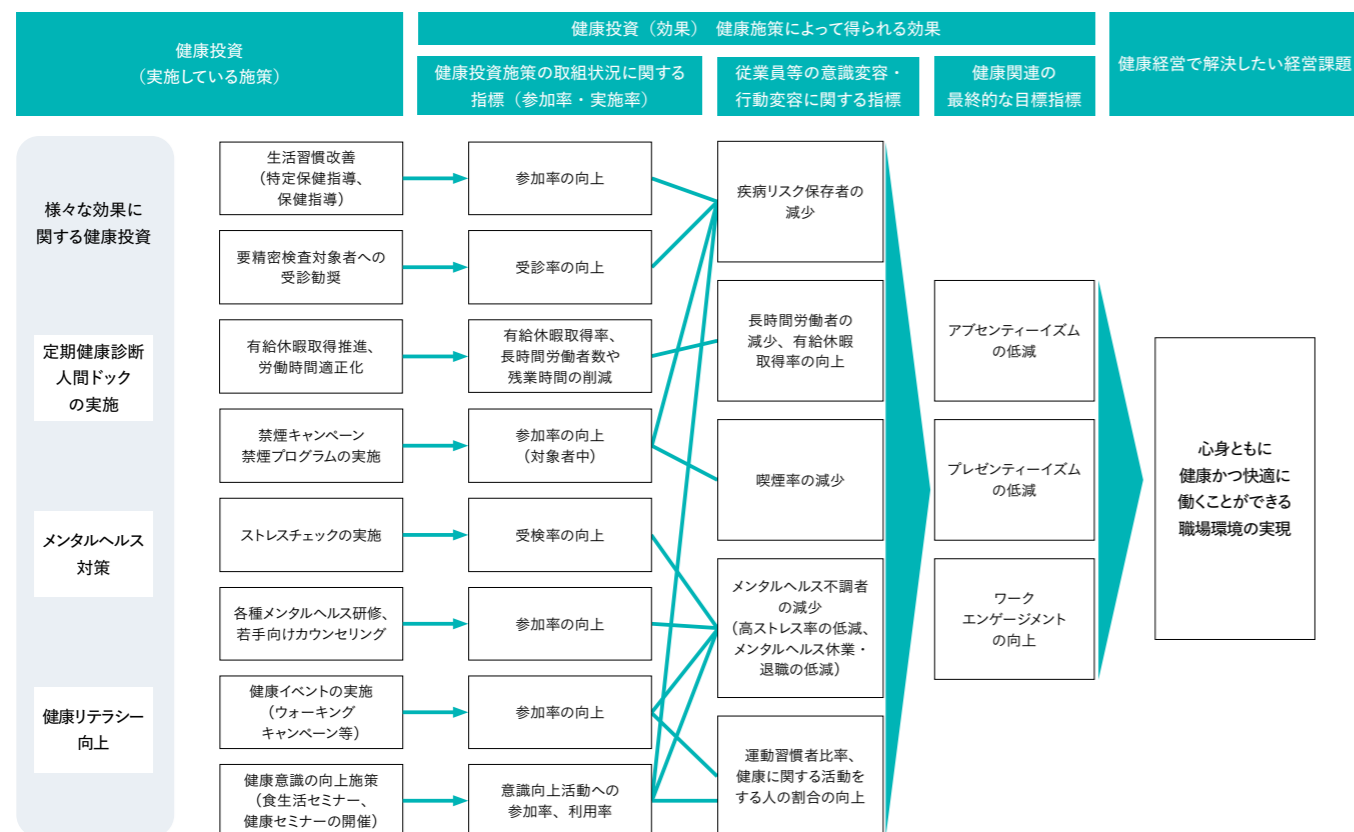
4. 職場環境の改善と健康意識の向上

- 1 全社健康データの把握・分析による健康課題の明確化
- 2 全社的なイベントの実施（ウォーキングなど）
- 3 所定外労働時間・休暇取得状況の把握および業務効率化・休暇取得推進
- 4 さまざまな健康意識向上活動の展開

5. 感染症への取り組み

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 インフルエンザ対策 など

健康経営戦略マップ



「健康経営優良法人」に認定

経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度で、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として 2023 年 3 月「健康経営優良法人 (大規模法人部門)」に 3 年連続で認定されました。



健康経営の取り組み

35 歳以上の人間ドック受診、残業・滞留時間管理、ウォーキングキャンペーンの実施、インフルエンザ感染症予防、喫煙率低減活動などの健康施策に取り組んでいます。



オリジナルの啓蒙ポスターを作成し、卒煙応援企画「卒煙チャレンジ 2022」を実施

生活習慣病対策

35 歳以上の社員には人間ドックの受診を奨励しており、女性向けには婦人科健診を常設しています。また、メタボリックシンドローム該当者には、特定保健指導の社内受診勧奨を積極的に行い、受診につなげています。

メンタルヘルス対策

入社 1～2 年目の社員を対象に外部 EAP[※]によるラインケア研修・カウンセリングを実施しました。また、リーダー層には必要に応じてラインケア研修を行いました。

※ EAP=Employee Assistance Program (従業員支援プログラム) の略

ウォーキングキャンペーンの実施

毎年ウォーキングキャンペーンを実施しています。2022 年度は、全参加者のランキングを共有できる健康アプリを初めて導入し、参加率は 88.2 %、目標歩数達成率は 92.3 %となりました。

健康データ一覧

健康診断や生活習慣データを分析して、自社の健康状態・課題を明らかにした上でさまざまな施策を展開しています。健康面における生産性の向上を目指し、社員が健康意識を高められるような環境を整備していきます。

項目		性別	2020	2021
健康診断受診率		男女	100.0 %	100.0 %
メタボリックシンドローム該当率 (40 歳以上)		男女	12.7 %	14.1 %
健康診断データ ^{※1}	有所見率	血压	男女 26.5 %	28.3 %
		血糖	男女 15.1 %	14.9 %
		脂質	男女 31.4 %	30.7 %
	肥満 (高 BMI)	男 25.4 %	25.6 %	
	女	13.8 %	13.2 %	

オリエンタルモーターのみで算出

※1 当社が定める以下有所見基準に基づく
 血压: 収縮期圧 130 mm Hg 以上または拡張期圧 85 mm Hg 以上
 血糖: 空腹時血糖 110 mg/dl 以上または HbA1c 5.9 % 以上
 脂質: 中性脂肪 150 mg/dl 以上、HDL39mg/dl 以下または LDL140 mg/dl 以上、
 高 BMI: BMI25.0 以上

項目		性別	2021	2022
生活習慣アンケート ^{※1}	朝食欠食率	男	22.9 %	21.3 %
		女	14.0 %	14.9 %
	運動習慣がある	男	33.9 %	34.0 %
		女	16.2 %	15.0 %
	睡眠で疲れが取れない	男女	29.9 %	33.0 %
喫煙率	男女	19.4 %	18.8 %	
飲酒ハイリスク者率	男	12.8 %	11.7 %	
	女	11.5 %	12.5 %	
ストレスチェック受検率	男女	100.0 %	100.0 %	
高ストレス該当率 ^{※2}	男女	10.5 %	10.2 %	
ウォーキングキャンペーン参加率	男女	85.6 %	88.2 %	

国内関連会社を含む数値

※1 厚生労働省 国民健康・栄養調査での算出方法に基づき、アンケートを実施しています。
 ※2 厚生労働省の調査によると、「高ストレス者」と判定される割合は平均 10 %程度とされています。

項目	説明	2021	2022
① 疾病による休職者数 (アブセンティーズム)	私傷病により休職した人数	17 人	17 人
② パフォーマンス発揮度 (プレゼンティーズム)	東大 1 項目版 (SPQ) で測定	-	81.9 %
③ 仕事いきいき度 (ワーク・エンゲージメント)	新職業性ストレス簡易調査票 80 問から求めた総合健康度指数 ^{※1}	50.3	50.4

①はオリエンタルモーターのみで算出、②・③は国内関連会社を含む数値
 ※1 ワーク・エンゲージメントとストレスの複合的な視点から求めた指数

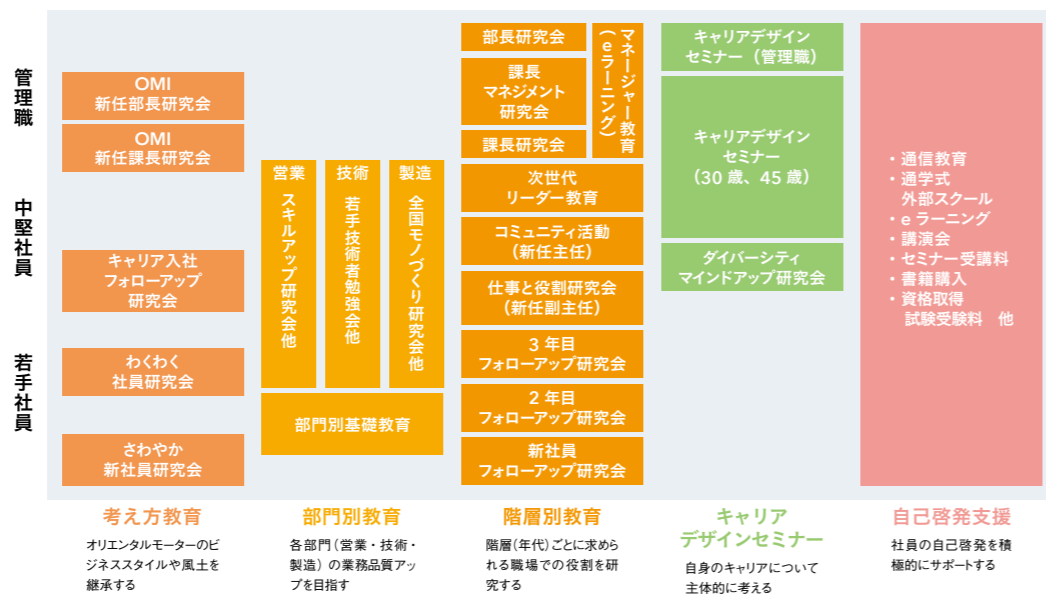
価値創造を支える基盤

「共に育つ」人財育成

お互いに学びながら育っていく「共育」の考え方を幹に、自分で考え、課題を解決する力を養うためのさまざまな研究会を実施しています。

教育制度

※ OMI = Oriental Motor Institute

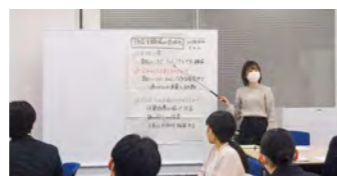


2022年度フォローアップ研究会の概要

	新社員フォローアップ研究会	2年目フォローアップ研究会	3年目フォローアップ研究会
キャリアの振り返り	入社から現在までの経験の棚卸し	入社から現在までの振り返り。成長を実感した出来事と、そこから得られた学び	Will/Can/Mustのフレームワークを使い、自分の強みや苦手なことを洗い出し
グループワークを通じたビジネススキル	図形伝達ゲームを通じた説明スキル・質問スキル	ありたい姿と現状のギャップを埋めるために必要なことを明確にする、問題解決の基本スキル	プレゼンテーションの演習を通じた効果的なプレゼンテーションスキル
2022年度参加人数	55名	66名	62名



図形伝達ゲームを通してコミュニケーションスキルを向上 (新社員フォローアップ研究会)



「実際に働いてみて感じたギャップ」などをテーマにグループ発表 (2年目フォローアップ研究会)



職場や仕事に対する自分の強みやキャリアについてプレゼンテーション (3年目フォローアップ研究会)

参加者の声

- 同期に悩みや不安などを相談しながらお互いにアドバイスし合うなかで、共感することも多く気持ちが楽になった
- 自分が成長したこと／できていないことを客観的に知ることができた
- 来年も対面でフォローアップ研究会を開催してほしい
- これまでの仕事を振り返ることがなかったため、改めて自身の課題が見つかった
- 自分の成功体験や自身の課題について、同期の意見を聞くことができて視野が広がった
- 拠点が異なっても、似たような悩みや苦労があることが分かり励みになった
- 同期の仕事ぶりやこれまでのキャリアを聞いて、刺激を受けた
- コロナ禍に入社し、他拠点の同期とは会う機会がないと思っていたので、このような機会がありました

Interview

「フォローアップ研究会」の対象者を全拠点に拡大

オリエンタルモーターでは、社員がお互いに学び合い、育っていく「共育」の考え方に基づいてさまざまな研究会を実施しています。2022年度は社内の教育体系を見直し、改善を図りました。

その一つが、入社1～3年目の社員を対象に実施しているフォローアップ研究会です。この研究会の目的は若手社員がオリエンタルモーターで長く、生き生きと活躍するよう、キャリアの棚卸しや同期と交流を深める機会をつくることです。従来は入社後に配属が全国各地に分かれる「グローバルコース」の社員のみを対象にしていたのですが、2022年度は勤務地が限定されている、「リージョナルコース」の社員にも範囲を拡大しました。

対象者を広げた背景として、これまでリージョナルコースの社員向けには拠点ごとに独自の研究会を行っていたため、フォローの頻度や内容にばらつきがありました。また、コロナ禍に入社した社員は同期が一堂に会する機会がなく、関係性が希薄に

なりがちです。こうした状況を踏まえ、全社で統一したフォローアップの機会を設けました。

参加者の拡大とともに、研究会の内容もアップデートしました。特に心掛けたのは、その場にいる全員が互いに遠慮せずに発言し、主体的に参加できるようにすること。年齢やこれまでの経験はそれぞれ異なるという前提に立った上で、皆が積極的な姿勢で、できるだけ多くのことを学べるように工夫しました。例えば新社員向けのグループワークでは図形伝達ゲームを取り入れ、2年目社員には入社後に感じたプラス・マイナスのギャップを自由に語り合っていました。これらを通じて他拠点・他職種の社員と交流を深めていただくことも狙いの一つですが、それ以上に、同期の考え方に触れて視野を広げたりヒントを得たり、自分の成長が他職種の仕事に良い影響を与えていることに気づいたり。そうした学びを次のアクションにつなげていくことが狙いです。



人財開発部
課長
山下 貴美

新人事制度の施行に向けて

社員一人ひとりのやりがいと成長を促し、会社の成長に貢献する人財育成と、環境変化に対応したチャレンジと創造の加速化、そして長く安心して働ける環境を目指した新しい人事制度が、2023年4月からスタートしました。

制度改定にあたっては、2021年度に全社員を対象とした意識調査を実施。目指すべき方向性を定め、新制度の考え方を整理して制度設計を行いました。新しい制度は、まったく新しい考え方を取り入れたというよりは、これまでオリエンタルモーターが大切にしてきた考え方を更に発展させたものになっています。

新人事制度の目指すべき方向性

より長く安心して働ける会社にするために、生き生きとした職場で一人ひとりがやりがいを持って働けること

2022年度は、制度施行に向けた社員への説明や周知を中心に進めてきました。大きな制度変更を全社員に誤解なく伝えていくため、人事制度ハンドブックの配布と合わせて、約2カ月に渡り計52回の説明会を実施しました。

主な変更のポイントは、①コース・等級・報酬制度、②評価・昇格制度、③転勤制度、④定年延長です。以下に挙げる目指すべき方向性と考え方をベースに、世の中の変化や社内の変化、そして多様な働き方に配慮しています。

新人事制度の考え方

- 役割と活躍に応じた処遇を中心に置く
- 制度やルールを明確にし、透明性を上げ、公正さを重視する
- 活躍のチャンスを増やす

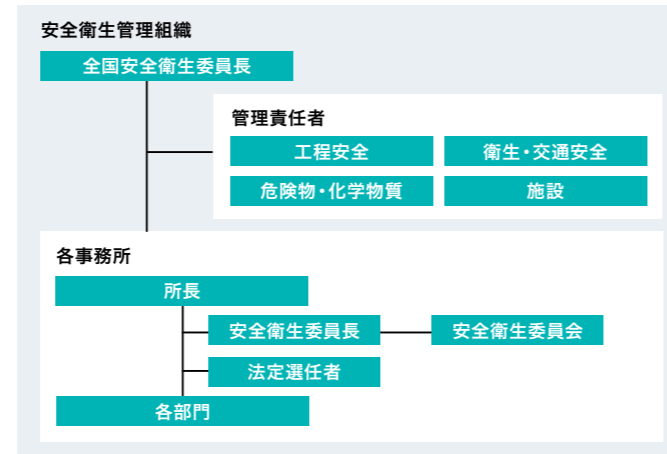
価値創造を支える基盤

生き生きと働くための職場づくり

労働安全衛生の取り組み

信頼性の高い製品を提供する企業活動の基本は、社員の健康と安全だと考えています。「人に優しい企業」を目指し、全員参加で積極的に労働安全衛生活動に取り組んでいます。

安全衛生推進体制



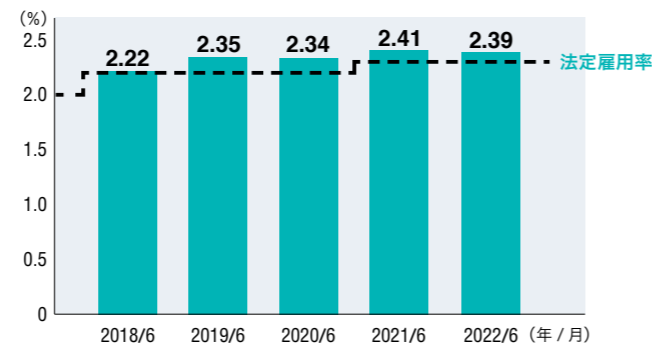
障がい者雇用の推進

法定基準を超えた雇用の実現を維持しています。

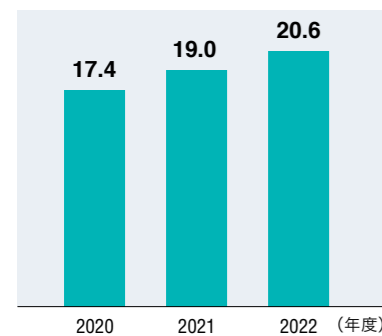
ダイバーシティの推進の取り組み

女性活躍推進の新たな行動計画が、2022年度から始まっています。3年後に行動計画目標を達成すべく、行動計画初年度としてさまざまな活動を進めてきました。2014年に女性活躍推進からスタートした当社のダイバーシティ推進活動は、実態に合わせて少しずつ変化しています。多様な働き方や環境の変化に、しなやかに対応できる人財を育む活動を引き続き継続していきます。

障がい者雇用率



主任に占める女性社員の割合



女性活躍推進法に基づく優良企業として、えるぼし(2段階)を取得

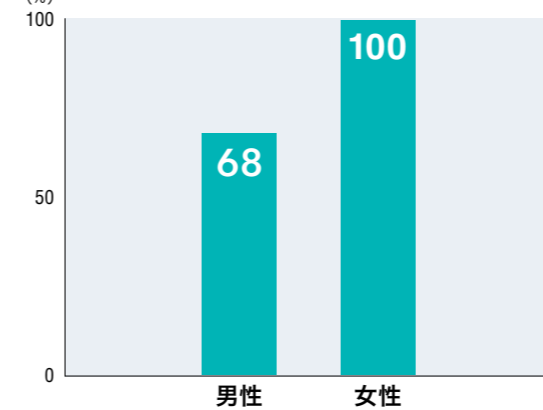
女性活躍推進行動計画結果

計画期間	2022年4月1日～2025年3月31日までの3年間
行動計画目標	①主任(係長級)に占める女性の割合を 23% にする(2023年3月現在20.6%) ②有給休暇取得率 65% 以上を継続する
取り組み内容	2022年度に実施した活動 <ul style="list-style-type: none"> ● 管理職登用のための研究会・座談会の継続実施 ● 中長期的なキャリア形成支援と当事者意識の醸成 ● 誰もが働きやすい職場環境づくり ● 健康経営の取り組みを通じた生産性向上の実現
行動結果	主任に占める女性の割合： 20.6%

ワークライフバランスへの取り組み

仕事と育児の両立支援制度

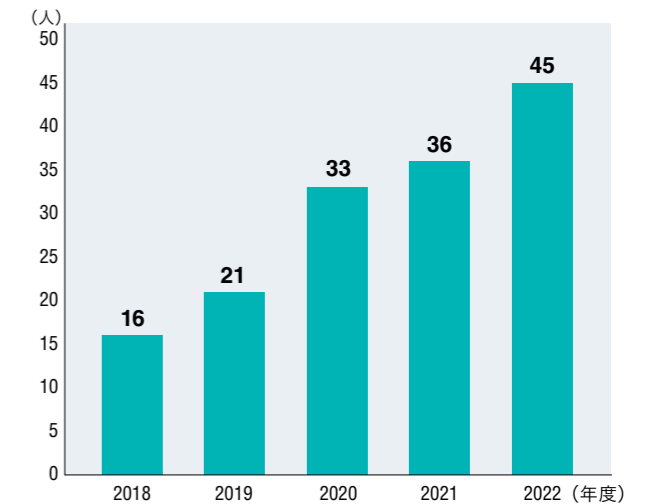
2022年度育児休業取得率



子育てサポート企業としてプラチナくるみん認定を取得

仕事と介護の両立支援制度

介護休暇申請者

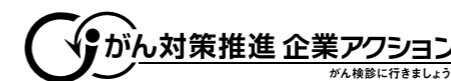


仕事と治療の両立支援制度

2022年度制度利用者数

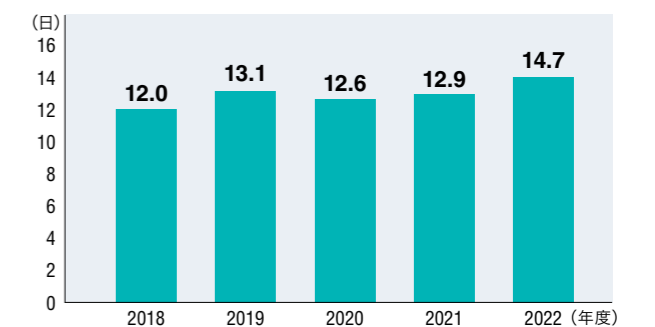
(単位:人)

内容	利用者数
入院・療養休暇	8
治療休暇	7
短時間勤務	0



「がん対策推進企業アクション」の推進パートナー企業に登録

有給休暇取得日数



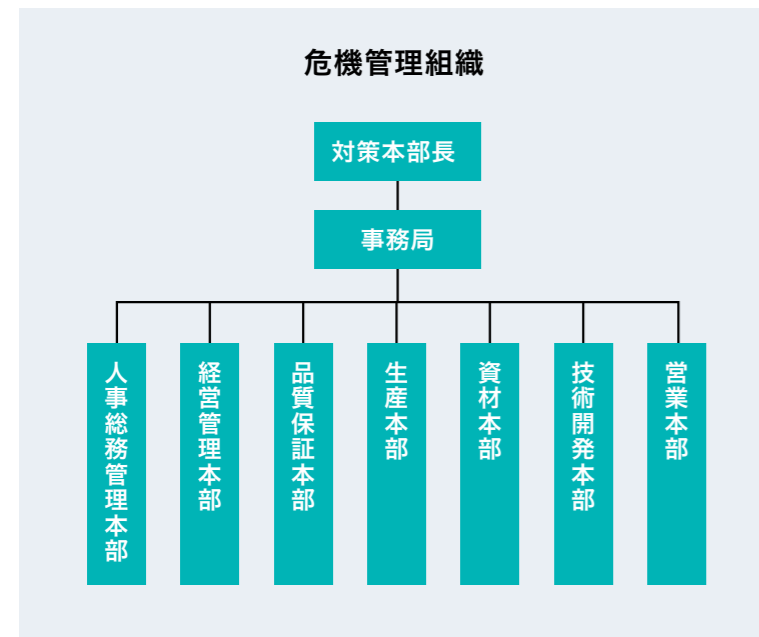
ガバナンス・リスクマネジメント

事業継続計画（BCP）

危機管理体制とその他基本事項を危機管理規定として定め、当社内および周辺地域住民の安全確保を図るとともに、製品の品質確保を図り、企業としての責務を果たすことに取り組んでいます。

方針

1. 社員とその家族、来訪者の安全確保を最優先する。
2. 企業資産（建物、機械・設備、原材料・製品・半製品など）の保全を図る。
3. 業務の早期復旧と継続を図る。
4. 各種対応の際は、常に人道面での配慮を優先させる。
5. 対策の継続的な改善を図る



リスク概要と対応

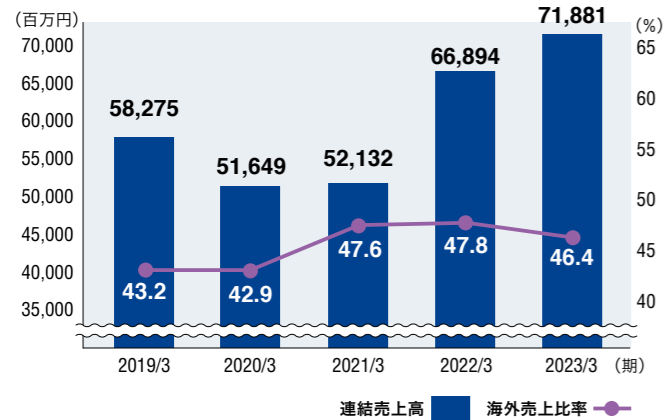
持続的な企業活動の障害となるリスクを明確にし、それらのリスクに適切な対応を取ることで、社会からの信頼および企業活動を損なうことのないよう取り組んでいます。

想定されるリスクと対応

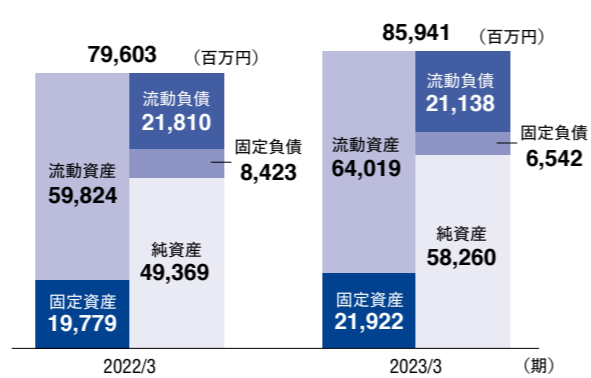
リスク項目	想定されるリスク	リスクへの対応
原材料や資材の調達	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然災害などによる供給難、供給不足 ● 紛争リスク地域からの鉱物調達による人権侵害、環境破壊、紛争 	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正在庫の強化 ● 代替部品・材料の調査、選定 ● 調達先の拡充 ● 紛争鉱物の調査、責任ある鉱物調達
災害	<ul style="list-style-type: none"> ● 社員・施設の被災による事業活動の中断 ● インフラの寸断・サプライチェーンの混乱による部品の供給不足 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産拠点や調達先の分散化による供給体制の早期再開 ● 社員の安否確認システム運用
パンデミック	<ul style="list-style-type: none"> ● 社内の集団感染発生による事業活動の中断 ● 感染拡大の長期化による部品部材の調達遅延と価格の高騰、収益への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ● 職場の感染防止対策の継続 ● オンラインツールおよび在宅勤務の活用 ● 取引先様との情報交換・モニタリング
製品の供給	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品供給の停滞 ● 輸送費の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産拠点の分散化 ● 輸送手段の多様化
製品の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ● 人への傷害、健康障害 ● 使用者の財産、環境への損害 ● これらに伴う賠償、訴訟 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法規制、規格などに適合した製品設計、第三者認証の取得 ● ISO/IEC 17025 試験所マネジメントシステムに基づく適合確認試験体制の構築 ● 品質保証体制の構築、サプライチェーン全体でのトレーサビリティ実現、不具合発生時の速やかな情報開示
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令による処罰や許認可取り消し ● ステークホルダーの信頼失墜 ● 訴訟の提起企業、イメージの低下 	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令順守意識の徹底 ● マネジメントシステムによる「ルールを逸脱しない仕組み」整備 ● 法改正情報の定期調査と社内関係部門への周知 ● 監査体制の強化
為替	<ul style="list-style-type: none"> ● 外貨建て取引を行っている輸出入など取引額および外貨建て債権・債務の円換算額の変動 ● 在外連結子会社の個別財務諸表の円換算額の変動 	<ul style="list-style-type: none"> ● 価格変動リスクの軽減を目的とした、外貨建て債権の一部について為替予約を実施
情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ● サイバー攻撃に伴う情報漏洩やデータ改ざん、サービス停止、システム破壊 ● 個人情報や機密情報の漏洩 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全性の高いシステム基盤の構築 ● 社員に対する継続的な情報セキュリティ教育 ● 個人情報を規定する各国の法律への対応
人財確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働力人口の減少など雇用情勢の変化 ● 就業観の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な働き方ができる仕組みの導入 ● 全員が活躍できる組織作り
労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働災害、交通災害、疾病 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全衛生推進体制の構築 ● 安全衛生教育による安全意識の向上 ● リスクアセスメントなどによる継続的な労働災害低減活動
知的財産	<ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産の第三者による権利侵害 	<ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産管理部門の設置 ● 他社の権利確認と他社からの権利侵害有無を定期的に調査 ● 開発段階からの早期権利申請

経営パフォーマンス

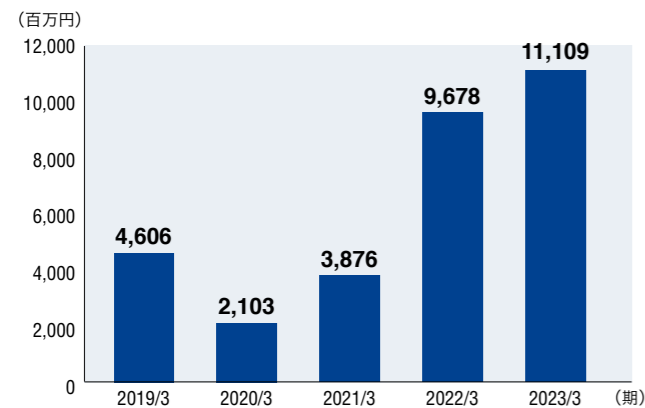
連結売上高・海外売上比率



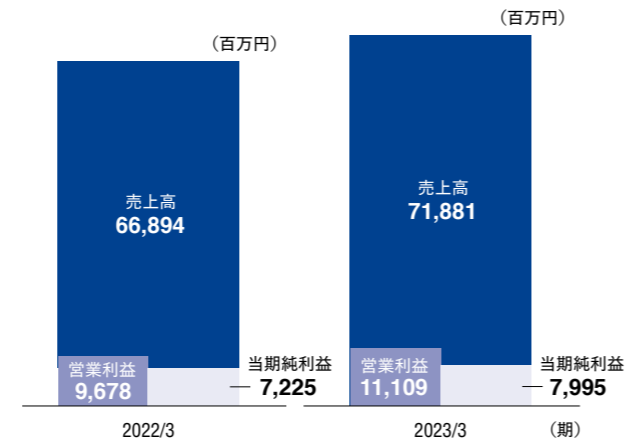
連結貸借対照表の概要



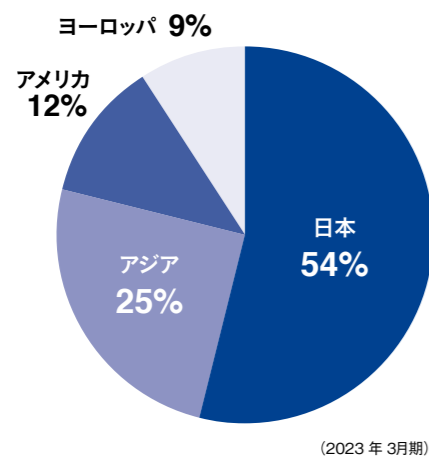
連結営業利益



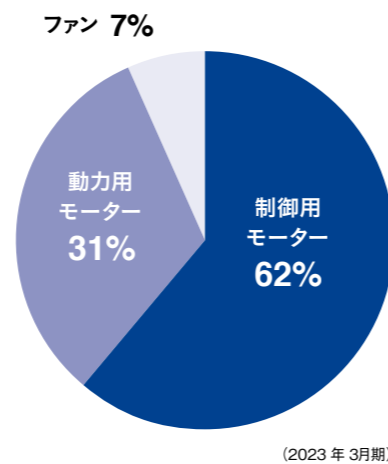
連結損益計算書の概要



地域別連結売上構成比



事業別連結売上構成比



会社概要

会社名 オリエンタルモーター株式会社

英文表記 ORIENTAL MOTOR CO., LTD.

本社 東京都台東区東上野 4-8-1

代表者 代表取締役執行役員社長 川人 英二

創業 1885年

設立 1950年

資本金 41億円

売上高 連結718億円(2023年3月期)

従業員数 3,042人(2023年3月末時点)

事業内容 精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発・製造・販売

取引銀行 千葉銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 百十四銀行
常陽銀行 荘内銀行 みずほ銀行

拠点一覧

● 事業所

鶴岡中央事業所
鶴岡西事業所
相馬事業所
つくば事業所
土浦事業所
柏事業所
甲府事業所
高松西事業所
高松国分寺事業所

● 営業所

東京支社
北上営業所
仙台支店
水戸営業所
宇都宮営業所
熊谷営業所
南関東支店
新潟営業所
諏訪営業所
甲府営業所
名古屋支社
豊田営業所
静岡営業所
金沢営業所
富山営業所
大阪支社
京都支店
滋賀営業所
兵庫営業所
岡山営業所
広島営業所
九州支店
熊本営業所

● 関連会社

国内

オリムベクスタ株式会社
第1営業部(東日本)
第2営業部(中部/西日本)
能代オリエンタルモーター株式会社
庄内オリエンタルモーターテック株式会社
鶴岡工場
酒田工場
酒田第2工場
オリエンタルモーターテック株式会社
常総工場
相馬テックカンパニー
オリエンタルモータービジネス株式会社

海外

● U.S.A.・カナダ

ORIENTAL MOTOR U.S.A. CORP.
本社・ロサンゼルス/サンノゼ/シカゴ/トロント/ボストン

● ドイツ

ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH
本社・デュッセルドルフ/ミュンヘン/ハンブルク/シュトゥットガルト/フランクフルト/ニュルンベルク/ベルリン

● イギリス

ORIENTAL MOTOR (UK) LTD
本社・ページングストーク/バーミンガム

● フランス

ORIENTAL MOTOR (FRANCE) SARL
本社・パリ/リヨン

● イタリア

ORIENTAL MOTOR ITALIA s.r.l.
本社・ミラノ/ボローニャ/ヴェローナ/ボルデノーネ

● スイス

ORIENTAL MOTOR SWITZERLAND AG
本社・チューリッヒ

● スペイン

ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH SPAIN BRANCH
マドリード

● 中国

SHANGHAI ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
本社・上海/北京/大連/蘇州/杭州/広州/深圳/東莞/武漢
XIAMEN ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
GUANGZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
SUZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD.

● 台湾

TAIWAN ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
本社・台北/新竹/台中/高雄

● 韓国

INA ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
本社・インチョン(仁川)/ソウル/スウォン(水原)/チョナン(天安)/テジョン(大田)/テグ(大邱)/クァンジュ(光州)/プサン(釜山)

● シンガポール

ORIENTAL MOTOR ASIA PACIFIC PTE. LTD.
本社・シンガポール

● マレーシア

ORIENTAL MOTOR (MALAYSIA) SDN. BHD.
本社・クアラランプール/ペナン

● タイ

ORIENTAL MOTOR (THAILAND) CO., LTD.
本社・バンコク/アユタヤ/チョンブリ

● インド

ORIENTAL MOTOR (INDIA) PVT. LTD.
本社・バンガロール

